

(9) 吉備国際大学

① 開講期間・試験期間・授業時間について

開講期間	春学期	2020年5月7日	～	2020年8月12日
	秋学期	2020年10月2日	～	2021年2月17日
試験期間	春学期	授業時間内に随時実施		
	秋学期	授業時間内に随時実施		
授業時間	1限	9:10	～	10:50
	2限	11:00	～	12:40
	3限	13:10	～	14:50
	4限	15:00	～	16:40
	5限	16:50	～	18:30

② アクセス(案内図)

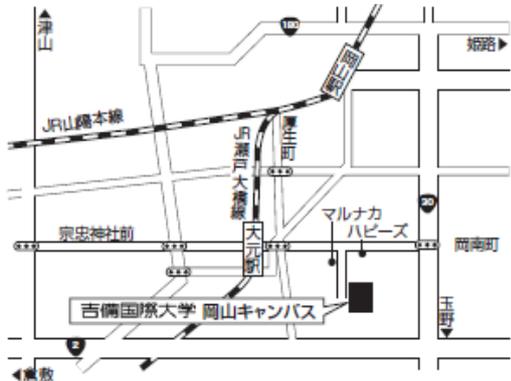


至新見市
至賀陽IC
備中松山城
石火矢町
ふるさと村
高梁基督教教会
市役所
郵便局
中国銀行
消防署
中央病院
市民体育館
市民プール
高梁川
紺屋川
吉備国際大学
JR備中高梁駅
至賀陽IC
通称・ループ橋。この展望台から眺める夜景は最高です。

【公共交通機関】

吉備国際大学 高梁キャンパス
JR 伯備線 備中高梁駅 下車
備中高梁駅から 徒歩20分 バス 6分

吉備国際大学 岡山キャンパス
JR 大元駅 徒歩約10分



津山
岡山
姫路
JR山陽本線
JR瀬戸大橋線
大元駅
岡山町
玉野
泉忠社社前
マルナカ ハビーズ
吉備国際大学 岡山キャンパス

③ 担当窓口

スチューデントサポートセンター教務部教務課	
所在地:	岡山県高梁市伊賀町8 3号館1階事務室内
電話:	0866-22-7779

④ 大学コンソーシアム岡山単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込受付期間どおり
所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

所属大学の担当窓口で、所定の期間内に出願書類を提出してください。
履修を許可された学生には、本学より受講案内等をお送りします。

・ 施設利用

図書館については、受講生所属大学の学生証をカウンターに提示し、その場で登録手続きした後、利用できます。

⑤ 各科目のシラバス

・対面授業科目

対面授業				09001																	
授業科目名:社会学			担当教員氏名:赤坂 真人																		
Sociology																					
履修年次:1~4	2単位	秋学期	1コマ																		
<p>【授業の目的】 この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解させ、講義で学習した社会的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている実際の出来事について考えさせることである。具体的には人口問題と環境、現代家族の変化、教育問題、いじめ、非正規社員の増加と経済的格差、人口の高齢化と年金、医療保険の破綻などを取り上げる。それによって学生たちは問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。</p>																					
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 社会学とは何か</td> <td>9. 教育の社会学</td> </tr> <tr> <td>2. 他の社会科学との違い</td> <td>10. 学力低下論争</td> </tr> <tr> <td>3. 社会学は何の役に立つのか</td> <td>11. 教育と社会</td> </tr> <tr> <td>4. 世界の人口動向</td> <td>12. 教員の多忙化と燃え尽き</td> </tr> <tr> <td>5. 日本の人口問題:少子高齢化</td> <td>13. 産業と労働</td> </tr> <tr> <td>6. 家族とは何か</td> <td>14. 日本的経営の終焉</td> </tr> <tr> <td>7. 変容する家族</td> <td>15. AIの進化が引き起こす社会変動</td> </tr> <tr> <td>8. 現代家族の諸問題</td> <td>16. 定期試験</td> </tr> </table>						1. 社会学とは何か	9. 教育の社会学	2. 他の社会科学との違い	10. 学力低下論争	3. 社会学は何の役に立つのか	11. 教育と社会	4. 世界の人口動向	12. 教員の多忙化と燃え尽き	5. 日本の人口問題:少子高齢化	13. 産業と労働	6. 家族とは何か	14. 日本的経営の終焉	7. 変容する家族	15. AIの進化が引き起こす社会変動	8. 現代家族の諸問題	16. 定期試験
1. 社会学とは何か	9. 教育の社会学																				
2. 他の社会科学との違い	10. 学力低下論争																				
3. 社会学は何の役に立つのか	11. 教育と社会																				
4. 世界の人口動向	12. 教員の多忙化と燃え尽き																				
5. 日本の人口問題:少子高齢化	13. 産業と労働																				
6. 家族とは何か	14. 日本的経営の終焉																				
7. 変容する家族	15. AIの進化が引き起こす社会変動																				
8. 現代家族の諸問題	16. 定期試験																				
<p>【テキスト】 『基礎社会学』赤坂真人 ふくろう出版(西日本事業出版) ISBN:978-4861864278</p>																					
<p>【参考図書】</p>																					
<p>【成績評価の方法】 小テスト(30%)・定期試験(70%)によって評価する。小テストや小論文は採点して返却するので必ず復習すること。</p>																					

対面授業			09002																	
授業科目名:運動方法学			担当教員氏名:竹内 研																	
Sports Methodology																				
履修年次:1~4	2単位	春学期	1コマ																	
【授業の目的】 この授業は、指導者の目線でスポーツ全般をとらえていくことを目的とする。コーチング法を理解し、指導の留意点、とくに育成年代の指導において、生理学的知識を踏まえながら、実際の現場で指導を行えることを目的とする。 世界の指導法や実際の現場の問題点も学び、将来、実際に指導できることを目的とする。 プレゼンテーション形式を用い、視覚的に理解しやすい授業で進めていく。主に、発達段階の選手たちに指導できるよう、スキヤモンの発育発達曲線を理解し、年齢、性別、目的に応じて指導できるように、生理学の基礎、現場での現状を踏まえ、最後は世界の指導法や、一流選手の指導を理解すること。																				
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>9. トレーニングとプラクティス</td> </tr> <tr> <td>2. 従来の運動指導の問題点</td> <td>10. 集団の構造</td> </tr> <tr> <td>3. コーチングとは</td> <td>11. 集団の機能</td> </tr> <tr> <td>4. 運動指導者としての資質</td> <td>12. 体育授業での運動指導</td> </tr> <tr> <td>5. 運動指導の目的・ねらい</td> <td>13. 教育目標と運動指導</td> </tr> <tr> <td>6. スポーツのパフォーマンスとは</td> <td>14. 社会スポーツにおける運動指導</td> </tr> <tr> <td>7. 上達論</td> <td>15. セルフエフィカシー向上のための方法論</td> </tr> <tr> <td>8. 技術指導の心理学的原則</td> <td>16. 試験</td> </tr> </table>					1. オリエンテーション	9. トレーニングとプラクティス	2. 従来の運動指導の問題点	10. 集団の構造	3. コーチングとは	11. 集団の機能	4. 運動指導者としての資質	12. 体育授業での運動指導	5. 運動指導の目的・ねらい	13. 教育目標と運動指導	6. スポーツのパフォーマンスとは	14. 社会スポーツにおける運動指導	7. 上達論	15. セルフエフィカシー向上のための方法論	8. 技術指導の心理学的原則	16. 試験
1. オリエンテーション	9. トレーニングとプラクティス																			
2. 従来の運動指導の問題点	10. 集団の構造																			
3. コーチングとは	11. 集団の機能																			
4. 運動指導者としての資質	12. 体育授業での運動指導																			
5. 運動指導の目的・ねらい	13. 教育目標と運動指導																			
6. スポーツのパフォーマンスとは	14. 社会スポーツにおける運動指導																			
7. 上達論	15. セルフエフィカシー向上のための方法論																			
8. 技術指導の心理学的原則	16. 試験																			
【テキスト】 スポーツ・コーチング学 西村書店																				
【参考図書】																				
【成績評価の方法】 授業時に課すレポート課題で30%、最終試験で70%の比率で評価を行う。評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、試験までに見直しておくこと。																				

対面授業			09003	
授業科目名:保健医療福祉行政論 I			担当教員氏名:田中 富子	
Theory of Adomistration for Health and Social Welfare				
履修年次:2~4	1単位	春学期	1コマ	
【授業の目的】 急激な社会情勢の変化から、様々な制度改革と新たな法の整備がなされている。人の生命に関わるすべての職種は保健医療福祉の各法に準拠した実践活動を基本とする。また、地域看護や公衆衛生看護活動は、関係機関と協働した支援や健康政策の企画立案機能が求められることから、広範囲な知識が必要となる。そこで、わが国における医療・高齢者・精神保健・母子保健に関する関係法や地域保健法を中心に法律・制度・政策の動向を学習する				
【授業内容】 1. 看護職の根拠法:保健師看護師助産師 法 2. 保健医療福祉行政の目指すもの 3. 保健医療福祉財政と地域保健法 4. 精神保健福祉関係法 (1)精神保健福祉法 5. 精神保健福祉関係法 (2)総合障害者支援法 6. 母子保健福祉関係法 母子保健法・児童福祉法 7. 母子保健医療関係法 母体保護法・母子保健法 8 社会保障制度 (1) 生活保護法・社会年金制度 9. 社会保障制度(2) 労働安全衛生法 10. 介護保険制度(1) 趣旨・概要 11. 介護保険制度(2) 仕組み・給付 12. 介護保険制度(3) サービス・変遷 13. 医療費の動向 14. 医療制度(1) 医療提供体制 15. 医療制度(2) 医療保険制度・医療計画 16. 最終試験				
【テキスト】 最新保健学講座7 保健医療福祉行政論				
【参考図書】 国民衛生の動向 ・看護法令要覧・公衆衛生がみえる				
【成績評価の方法】 最終試験以前の講義出席が2/3以上であることを基礎条件とする 評価方法 1. 講義毎の区切りで小テストを4回行い、40%の評価をする 2. 最終試験は50%の評価とする 3. 課題提出によるレポートを10%で評価をする 4. 総合評価点をもって、学則における「学習の評価」とする				

対面授業			09004																	
授業科目名:リハビリテーション概論			担当教員氏名:河村 顕治																	
Introduction to Rehabilitation																				
履修年次:1~4	1単位	春学期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 リハビリテーションの理念と社会的、地域的リハビリテーションを含めた包括的なリハビリテーションの考え方を教授する。平成 12 年度より始まった公的介護保険制度についても、社会的背景より講義を行う。 リハビリテーションを単なる後療法と位置づけるのではなく、人間らしく生きるための技術、学問として考えていきたい。また、リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を強調したい。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. リハビリテーションとは</td> <td>9. QOL の評価</td> </tr> <tr> <td>2. 学内見学実習</td> <td>10. 理学療法</td> </tr> <tr> <td>3. 障害のとらえかた</td> <td>11. 作業療法</td> </tr> <tr> <td>4. リハビリテーション医学の歴史</td> <td>12. 言語聴覚療法</td> </tr> <tr> <td>5. リハビリテーション医学の実際</td> <td>13. 補装具、自助具</td> </tr> <tr> <td>6. 機能障害の評価(ROM)</td> <td>14. 社会保障体制</td> </tr> <tr> <td>7. 機能障害の評価(MMT)</td> <td>15. 公的介護保険制度と地域リハ</td> </tr> <tr> <td>8. 活動の評価(ADL)</td> <td>16. 単位認定試験</td> </tr> </table>					1. リハビリテーションとは	9. QOL の評価	2. 学内見学実習	10. 理学療法	3. 障害のとらえかた	11. 作業療法	4. リハビリテーション医学の歴史	12. 言語聴覚療法	5. リハビリテーション医学の実際	13. 補装具、自助具	6. 機能障害の評価(ROM)	14. 社会保障体制	7. 機能障害の評価(MMT)	15. 公的介護保険制度と地域リハ	8. 活動の評価(ADL)	16. 単位認定試験
1. リハビリテーションとは	9. QOL の評価																			
2. 学内見学実習	10. 理学療法																			
3. 障害のとらえかた	11. 作業療法																			
4. リハビリテーション医学の歴史	12. 言語聴覚療法																			
5. リハビリテーション医学の実際	13. 補装具、自助具																			
6. 機能障害の評価(ROM)	14. 社会保障体制																			
7. 機能障害の評価(MMT)	15. 公的介護保険制度と地域リハ																			
8. 活動の評価(ADL)	16. 単位認定試験																			
<p>【テキスト】 リハビリテーション医学テキスト 改訂第 4 版 南江堂 監修: 三上真弘 編集: 出江紳一/加賀谷齊 ISBN : 978-4-524-26549-7</p>																				
<p>【参考図書】</p>																				
<p>【成績評価の方法】 定期試験(80%)を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容(20%)にて総合的に判定を行う。</p>																				

対面授業			09005																	
授業科目名: 作業療法概論			担当教員氏名: 京極 真 他																	
Introduction to Occupational Therapy																				
履修年次: 1~4	1単位	春学期	1コマ																	
<p>【授業の目的】</p> <p>将来、作業療法士として従事することを目指し、保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。また、作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。</p> <p>具体的には、作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性と今後の作業療法への展望について検討する。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション, 作業とは何か</td> <td>9. 作業療法の実践理論 (CMOP-E・OTIPM 他)</td> </tr> <tr> <td>2. 作業療法の対象, Enabling occupation</td> <td>10. 高次脳機能障害領域の作業療法</td> </tr> <tr> <td>3. 身体障害領域の作業療法</td> <td>11. 発達障害領域の作業療法</td> </tr> <tr> <td>4. 精神障害領域の作業療法</td> <td>12. 予防領域の作業療法</td> </tr> <tr> <td>5. 高齢者・認知症の作業療法</td> <td>13. 作業療法における研究の重要性</td> </tr> <tr> <td>6. 作業療法の歴史 (起源)</td> <td>14. 生活行為向上マネジメント</td> </tr> <tr> <td>7. 作業療法の歴史 (パラダイムシフト)</td> <td>15. 作業療法を取り巻く状況, まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 作業療法の実践理論 (人間作業モデル)</td> <td>16. 試験</td> </tr> </table>					1. オリエンテーション, 作業とは何か	9. 作業療法の実践理論 (CMOP-E・OTIPM 他)	2. 作業療法の対象, Enabling occupation	10. 高次脳機能障害領域の作業療法	3. 身体障害領域の作業療法	11. 発達障害領域の作業療法	4. 精神障害領域の作業療法	12. 予防領域の作業療法	5. 高齢者・認知症の作業療法	13. 作業療法における研究の重要性	6. 作業療法の歴史 (起源)	14. 生活行為向上マネジメント	7. 作業療法の歴史 (パラダイムシフト)	15. 作業療法を取り巻く状況, まとめ	8. 作業療法の実践理論 (人間作業モデル)	16. 試験
1. オリエンテーション, 作業とは何か	9. 作業療法の実践理論 (CMOP-E・OTIPM 他)																			
2. 作業療法の対象, Enabling occupation	10. 高次脳機能障害領域の作業療法																			
3. 身体障害領域の作業療法	11. 発達障害領域の作業療法																			
4. 精神障害領域の作業療法	12. 予防領域の作業療法																			
5. 高齢者・認知症の作業療法	13. 作業療法における研究の重要性																			
6. 作業療法の歴史 (起源)	14. 生活行為向上マネジメント																			
7. 作業療法の歴史 (パラダイムシフト)	15. 作業療法を取り巻く状況, まとめ																			
8. 作業療法の実践理論 (人間作業モデル)	16. 試験																			
<p>【テキスト】</p> <p>作業療法学概論 (標準作業療法学専門分野第3版). 二木淑子・能登真一編, 医学書院, 2016</p> <p>「作業」って何だろう～作業科学入門 第2版. 吉川ひろみ著, 医歯薬出版, 2017</p>																				
<p>【参考図書】</p> <p>基礎作業学 第3版 (標準作業療法学専門分野). 濱口豊太・他編, 医学書院, 2017</p> <p>作業療法士になろう! 齋藤さわ子著, 青弓社, 2017</p> <p>【注意事項】: テキストの指定頁を含め、必ず予習・復習をすること</p>																				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>授業への参加度 (30%), 確認テスト (20%), 期末試験 (50%) の結果で総合評価</p>																				

対面授業			09006																	
授業科目名:音楽のたのしみ			担当教員氏名: 上田 豊																	
What is music ?																				
履修年次: 1~4	2単位	秋学期	1コマ																	
<p>【授業の目的】</p> <p>「音楽とは何か」をテーマとし、人類はなぜ音楽を創り出し、そして継承してきたか。現在音楽は、生活の様々な場面まで深く浸透している。しかし、冒頭の問いに直ちに的確に答えることはできない。</p> <p>本講座では、先ず、音楽の素材である音について知り、音楽は音素材をどのように組み合わせ構成されているのか、その仕組みを知る。仕組みの把握として、よく親しまれている歌を素材に、音階、言葉、リズムなど音楽の構成要素を学ぶ。</p> <p>以上は、音楽そのものの把握であるが、次に音楽が我々の生活の中で、どのように用いられ機能しているかを CD や DVD を通して把握し、音楽が我々の生活をどのように潤しているかを知り、生涯にわたって音楽を愛好する心情を養う。</p> <p>そして、上記の学習を通して、冒頭の問いに対して自分の回答を発見することを目的とする。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 音楽とは何か</td> <td>09. 音楽のジャンル4:ポピュラー音楽1</td> </tr> <tr> <td>2. 音・音楽を知る</td> <td>10. 音楽のジャンル5:ポピュラー音楽2</td> </tr> <tr> <td>3. 音楽の構造1:音楽の三つのタイプ</td> <td>11. 音楽の聴き方1:ジャズを知る</td> </tr> <tr> <td>4. 音楽の構造2:旋律と音階</td> <td>12. 音楽の聴き方2:ジャズを楽しむ</td> </tr> <tr> <td>5. 音楽の構造3:様々な音階</td> <td>13. 音楽の聴き方3:名曲誕生の秘話</td> </tr> <tr> <td>6. 音楽のジャンル1:概要</td> <td>14. 音楽の聴き方4:交響曲を知る</td> </tr> <tr> <td>7. 音楽のジャンル2:芸術音楽</td> <td>15. 音楽とは何か:音楽の起源・音楽の機能</td> </tr> <tr> <td>8. 音楽のジャンル3:民俗音楽</td> <td>16. 期末試験</td> </tr> </table>					1. 音楽とは何か	09. 音楽のジャンル4:ポピュラー音楽1	2. 音・音楽を知る	10. 音楽のジャンル5:ポピュラー音楽2	3. 音楽の構造1:音楽の三つのタイプ	11. 音楽の聴き方1:ジャズを知る	4. 音楽の構造2:旋律と音階	12. 音楽の聴き方2:ジャズを楽しむ	5. 音楽の構造3:様々な音階	13. 音楽の聴き方3:名曲誕生の秘話	6. 音楽のジャンル1:概要	14. 音楽の聴き方4:交響曲を知る	7. 音楽のジャンル2:芸術音楽	15. 音楽とは何か:音楽の起源・音楽の機能	8. 音楽のジャンル3:民俗音楽	16. 期末試験
1. 音楽とは何か	09. 音楽のジャンル4:ポピュラー音楽1																			
2. 音・音楽を知る	10. 音楽のジャンル5:ポピュラー音楽2																			
3. 音楽の構造1:音楽の三つのタイプ	11. 音楽の聴き方1:ジャズを知る																			
4. 音楽の構造2:旋律と音階	12. 音楽の聴き方2:ジャズを楽しむ																			
5. 音楽の構造3:様々な音階	13. 音楽の聴き方3:名曲誕生の秘話																			
6. 音楽のジャンル1:概要	14. 音楽の聴き方4:交響曲を知る																			
7. 音楽のジャンル2:芸術音楽	15. 音楽とは何か:音楽の起源・音楽の機能																			
8. 音楽のジャンル3:民俗音楽	16. 期末試験																			
<p>【テキスト】</p> <p>プリント、CD、DVD を使用のため、特になし。</p>																				
<p>【参考図書】</p> <p>浦久俊彦著『138億年の音楽史』講談社現代新書</p>																				
<p>【成績評価の方法】</p> <p>学習態度、毎回の授業における課題と期末試験により総合的に評価する。評価の割合は、期末試験(筆記)(50%)、授業における課題(30%)、授業参加態度(20%)。</p>																				

対面授業				09007																	
授業科目名：子どもの心理発達			担当教員氏名：森井 康幸																		
Psychological development in childhood																					
履修年次：1～4	2 単位	秋学期	1コマ																		
【授業の目的】 系統発生的な視点を取り入れながら、とくに子ども期に焦点を当てて、ヒト・人間の発達・発生をとらえることをテーマとし、動物としてのヒト発達の特殊性や共通性を知り、発達心理学の幅広い知識を習得するとともに、心理学的な考え方を理解することを到達目標とする。																					
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>9. 幼児期の認知発達</td> </tr> <tr> <td>2. 発達における生物学的基盤</td> <td>10. 遊びと認知発達</td> </tr> <tr> <td>3. 胎児にできること</td> <td>11. 遊びと仲間関係</td> </tr> <tr> <td>4. 新生児の見る世界、聴く世界</td> <td>12. ことばの発達①(ことばの前のことば)</td> </tr> <tr> <td>5. 発達初期の不思議</td> <td>13. ことばの発達②(ことばの獲得)</td> </tr> <tr> <td>6. 母子相互作用を促進する仕組み</td> <td>14. 児童期</td> </tr> <tr> <td>7. 愛着形成と親子関係</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 愛着関係に影響する要因</td> <td>16. 試験</td> </tr> </table>						1. オリエンテーション	9. 幼児期の認知発達	2. 発達における生物学的基盤	10. 遊びと認知発達	3. 胎児にできること	11. 遊びと仲間関係	4. 新生児の見る世界、聴く世界	12. ことばの発達①(ことばの前のことば)	5. 発達初期の不思議	13. ことばの発達②(ことばの獲得)	6. 母子相互作用を促進する仕組み	14. 児童期	7. 愛着形成と親子関係	15. まとめ	8. 愛着関係に影響する要因	16. 試験
1. オリエンテーション	9. 幼児期の認知発達																				
2. 発達における生物学的基盤	10. 遊びと認知発達																				
3. 胎児にできること	11. 遊びと仲間関係																				
4. 新生児の見る世界、聴く世界	12. ことばの発達①(ことばの前のことば)																				
5. 発達初期の不思議	13. ことばの発達②(ことばの獲得)																				
6. 母子相互作用を促進する仕組み	14. 児童期																				
7. 愛着形成と親子関係	15. まとめ																				
8. 愛着関係に影響する要因	16. 試験																				
【テキスト】 乳幼児のこころ 遠藤・佐久間・徳田・野田 ISBN:978-4-641-12429-5 有斐閣																					
【参考図書】 幼児心理学への招待(改訂版)内田伸子 ISBN:978-4781911823 サイエンス社																					
【成績評価の方法】 評価は小テスト(30%)、定期試験(70%)の結果に受講態度を勘案し総合的に評価する。																					

対面授業			09008																	
授業科目名: アニメーション文化論 A			担当教員氏名: 井上 博明																	
STUDY OF ANIMATION CULTURE A																				
履修年次: 1~4	2 単位	春学期	1コマ																	
<p>【授業の目的】 この授業では、現代日本を代表する文化の一つとまで言われるようになった日本のアニメーション文化を理解する事をテーマに、その技術と表現手法に焦点を当てながら、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観する。その際、学生がアニメーションの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、それぞれの時代の中で社会に対しどのような影響を与えてきたかを考える事を目指す。また、海外のアニメーションと日本のアニメーションとの対比を行うことで、広がりゆく文化としてのアニメーションをも深く理解する。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 日本アニメーションの成り立ち</td> <td>9. アニメーション製作システム1(日本)</td> </tr> <tr> <td>2. 日本アニメーションの歴史1(創世記から東映動画設立)</td> <td>10. アニメーション製作システム2(海外)</td> </tr> <tr> <td>3. 日本アニメーションの歴史2(TV放送開始から70年代)</td> <td>11. アニメーションの社会における立ち位置1(子供)</td> </tr> <tr> <td>4. 日本アニメーションの歴史3(80年代OVA時代)</td> <td>12. アニメーションの社会における立ち位置2(オタク)</td> </tr> <tr> <td>5. 日本アニメーションの歴史4(90年代からオタク時代)及び歴史に関する小レポート</td> <td>13. アニメーションの社会における立ち位置3(一般)及び社会における立ち位置に関する小レポート</td> </tr> <tr> <td>6. 海外進出の歴史</td> <td>14. アニメーションの地域における影響1(事前調査)(地)</td> </tr> <tr> <td>7. 海外での日本アニメーションブーム</td> <td>15. アニメーションの地域における影響2(発表)(地)及び全体のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 漫画とアニメーションの関係</td> <td>16. 単位認定試験</td> </tr> </table>					1. 日本アニメーションの成り立ち	9. アニメーション製作システム1(日本)	2. 日本アニメーションの歴史1(創世記から東映動画設立)	10. アニメーション製作システム2(海外)	3. 日本アニメーションの歴史2(TV放送開始から70年代)	11. アニメーションの社会における立ち位置1(子供)	4. 日本アニメーションの歴史3(80年代OVA時代)	12. アニメーションの社会における立ち位置2(オタク)	5. 日本アニメーションの歴史4(90年代からオタク時代)及び歴史に関する小レポート	13. アニメーションの社会における立ち位置3(一般)及び社会における立ち位置に関する小レポート	6. 海外進出の歴史	14. アニメーションの地域における影響1(事前調査)(地)	7. 海外での日本アニメーションブーム	15. アニメーションの地域における影響2(発表)(地)及び全体のまとめ	8. 漫画とアニメーションの関係	16. 単位認定試験
1. 日本アニメーションの成り立ち	9. アニメーション製作システム1(日本)																			
2. 日本アニメーションの歴史1(創世記から東映動画設立)	10. アニメーション製作システム2(海外)																			
3. 日本アニメーションの歴史2(TV放送開始から70年代)	11. アニメーションの社会における立ち位置1(子供)																			
4. 日本アニメーションの歴史3(80年代OVA時代)	12. アニメーションの社会における立ち位置2(オタク)																			
5. 日本アニメーションの歴史4(90年代からオタク時代)及び歴史に関する小レポート	13. アニメーションの社会における立ち位置3(一般)及び社会における立ち位置に関する小レポート																			
6. 海外進出の歴史	14. アニメーションの地域における影響1(事前調査)(地)																			
7. 海外での日本アニメーションブーム	15. アニメーションの地域における影響2(発表)(地)及び全体のまとめ																			
8. 漫画とアニメーションの関係	16. 単位認定試験																			
<p>【テキスト】 必要に応じプリントを配布する</p>																				
<p>【参考図書】 使用しない</p>																				
<p>【成績評価の方法】 テーマ「日本のアニメーション文化を理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、会話能力を判定するための課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。ただし、他の受講生に迷惑となる受講態度が認められた場合には減点する。</p>																				

対面授業				09010																	
授業科目名: ディスカッション英語			担当教員氏名: ジョン・フォーセット																		
Discussion English																					
履修年次: 2~4	2単位	秋学期	1コマ																		
【授業の目的】 社会問題等の物事について意見交換と説明ができる英語表現力を身につける。																					
【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1. コース紹介など</td> <td>9. パブロ・ピカソ</td> </tr> <tr> <td>2. ウINSTON・チャーチル</td> <td>10. ココ・シャネル</td> </tr> <tr> <td>3. ミハエル・ゴルバチョフ</td> <td>11. ジョン・レノン</td> </tr> <tr> <td>4. ロバート・キャパ</td> <td>12. チャールズ・チャプリン</td> </tr> <tr> <td>5. アンネ・フランク</td> <td>13. J・K・ローリング</td> </tr> <tr> <td>6. ジークムント・フロイト</td> <td>14. オードリー・ヘップバーン</td> </tr> <tr> <td>7. アルベルト・アインシュタイン</td> <td>15. プレゼン「私のアイコン」</td> </tr> <tr> <td>8. フランツ・カフカ</td> <td>16. 定期試験</td> </tr> </table>						1. コース紹介など	9. パブロ・ピカソ	2. ウINSTON・チャーチル	10. ココ・シャネル	3. ミハエル・ゴルバチョフ	11. ジョン・レノン	4. ロバート・キャパ	12. チャールズ・チャプリン	5. アンネ・フランク	13. J・K・ローリング	6. ジークムント・フロイト	14. オードリー・ヘップバーン	7. アルベルト・アインシュタイン	15. プレゼン「私のアイコン」	8. フランツ・カフカ	16. 定期試験
1. コース紹介など	9. パブロ・ピカソ																				
2. ウINSTON・チャーチル	10. ココ・シャネル																				
3. ミハエル・ゴルバチョフ	11. ジョン・レノン																				
4. ロバート・キャパ	12. チャールズ・チャプリン																				
5. アンネ・フランク	13. J・K・ローリング																				
6. ジークムント・フロイト	14. オードリー・ヘップバーン																				
7. アルベルト・アインシュタイン	15. プレゼン「私のアイコン」																				
8. フランツ・カフカ	16. 定期試験																				
【テキスト】 																					
【参考図書】 授業中に適宜資料を配付する。																					
【成績評価の方法】 定期試験の成績(40%)、予習・レポート・プレゼン・授業姿勢(60%)																					

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

吉備国際大学学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科	年	
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦	年	
			昭和・平成	年	月
現住所	〒 - Tel () -				

* 履修受付締切日：前期：4月7日(火)まで 後期：9月23日(水)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
09001	社会学	教養	赤坂 真人	2	秋学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 11:10~12:40		
09002	運動方法学	専門	竹内 研	2	春学期	1~4	高梁キャンパス開講	水 13:10~14:50		
09003	保健医療福祉行政論 I	専門	田中 富子	1	春学期	2~4	高梁キャンパス開講	水 15:00~16:40		
09004	リハビリテーション概論	専門	河村 顕治	1	春学期	1~4	高梁キャンパス開講	水 13:10~14:50		
09005	作業療法概論	専門	京極 真他	1	春学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 13:10~14:50		
09006	音楽のたのしみ	教養	上田 豊	2	秋学期	1~4	高梁キャンパス開講	木 16:50~18:20		
09007	子どもの心理発達	専門	森井 康幸	2	秋学期	1~4	高梁キャンパス開講	火 13:30~15:00		
09008	アニメーション文化論 A	専門	井上 博明	2	春学期	1~4	高梁キャンパス開講	木 9:10~10:50		
09010	ディスカッション英語	専門	ジョン・フォーセット	2	秋学期	2~4	岡山キャンパス開講	月 15:10~16:40		

写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	0 枚	1 枚